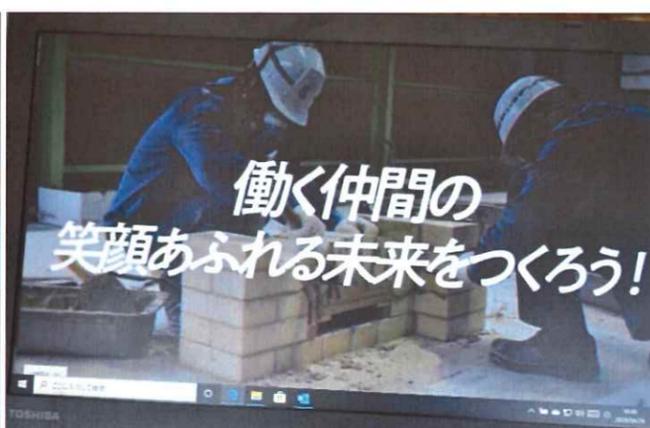


# 4 第91回中央メーデー スローガン



## 佐世保地区メーデーフードドライブ



第91回佐世保地区メーデーでは、例年行っているフードドライブについて、実行委員会の中で、対応可能な組織は対応をお願いしたいと申し上げておりました。

5月1日メーデー当日、北松ブロック（自治労：平戸市職）より提供があった旨の連絡があり、街宣行動の途中で受け取らせていただきました。組織のご協力に感謝申し上げます。

◎編集後記 H・K  
 第91回佐世保地区メーデー集会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となりました。日本でメーデーが開催されて100年という節目の年に世界が見えない敵に振り回され、混乱がおきています。これまで培ってきた知恵と英知を総動員してみんなで協力して克服していかなければなりません。コロナに負けるな！がんばろう！

 JTUC SASEBOCHIKYO	<h1>連合長崎</h1> <h1>させぼ</h1>	NO. 42 連合長崎 佐世保地域協議会 〒857-0851 佐世保市稲荷町2-28 TEL 0956-20-0565 Fax 0956-20-0567 Email:sasebo-rengo@hop.ocn.ne.jp 2020年5月8日 発行責任者：鴨川博明
---	-------------------------------	--

## メーデー100年 街宣アピール

◆「メーデー100年 平和・人権・環境をまもり 公正で持続可能な社会をめざす 働く仲間の 笑顔あふれる未来をつくらう！」

▲県北地区を メーデー街宣アピール



▲浦頭埠頭付近

▲平戸大橋付近

▲松浦発電所付近

皆さん、こんにちは。私たちは、働く者の代表、労働組合の連合です。

さて、5月1日はメーデー（May Day）です。古くからヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」とされ祝日とされてきました。一方で、低賃金と長時間労働に苦しめられていた米国の労働者が団結してストライキを行ったのが1886年の5月1日で、翌年以降も5月1日に労働時間の短縮に向けてストライキが実施されました。この動きが世界の労働組合に広まり、1890年5月1日に第1回国際メーデーが多くの国で開催されました。これが今に続く「労働者の祭典」としてのメーデーの起源となったのです。

日本では1920年5月2日に第1回メーデーが東京・上野公園で開かれました。しかし 治安維持法の下で労働運動は弾圧され、第二次世界大戦中は中止に追い込まれました。戦後、メーデーは労働組合の復活とともに再び開催され、我が国の労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久平和に深く貢献し、その役割を果たしてきました。そして今年、メーデーは記念すべき100年を迎えました。改めてメーデーの原点・意義を振り返り、すべての働く仲間が団結・連帯することの重要性を訴えます。

今、未曾有の新型コロナウイルス感染症により、社会、経済、雇用に深刻な影響を及ぼしています。私たち連合は、働く者・生活者の立場から、政府に対して、感染症拡大抑止を最優先に取り組むこと、生活確保・事業継続のための緊急措置を講じること、雇用調整助成金の引き上げなどの対策を含め雇用を必ず守ること、などを軸とする緊急措置の可及的速やかな実施などを強く求めています。そして、このような厳しい状況の中でも、私たちの暮らしや命を守るために、懸命に働いている方々がいらっしゃいます。メーデー100年、改めて、この厳しい難局の中で、経済・雇用・生活の安心・安定の確保に向けて、働く仲間の力を結集していくことを呼びかけます。

この難局を乗り越えるため、すべての仲間の皆さんとともに、手を携えてがんばっていきましょう。



▲神津中央実行委員長挨拶



▲中央メーデー宣言 斉藤実行委員



▲メーデー中央大会 がんばろう三唱



私は今、連合会館の一階ロビーにいます。いつもであれば4万人の仲間とともに代々木公園で開催する中央メーデーですが、今は、新型コロナウイルスとの闘いの真ただ中です。

今年、このような形で行うこととしました。

そしてこれまで、連合に集う仲間、そして連携をする組織の皆さんとともに祝ってきたこのメーデーを、すべての働く仲間、すべての方々にメッセージを送る場として位置付けたいと思います。多くの方々のご賛同と拡散をよろしくお願いいたします。

#### ☆メーデーとは？

さて今年の日本のメーデーは91回目です。ここにあるようにメーデーは100年目なのに91回目なのです。なぜでしょうか？

この間、日本のメーデーは弾圧や戦争のせいで開催ができなかった年があったのです。

今、世界を不安のどん底に陥れている新型コロナウイルスとの闘いは、一種の戦争だとも言われます。しかし大きい違いがあります。戦争のように国と国がいがみあっているのは、この戦いに打ち克つことはできません。世界が力を合わせなければならないのです。

私たちは100年の重みをかみしめつつ、ITUC・国際労働組合総連合に集う世界163か国の労働組合の仲間、各国でメーデーを祝う仲間とともに、世界の結束を、まず強く訴えておきたいと思えます。

#### ☆自分たちをまもる・働く者をまもる

メーデーの歴史は1886年、長時間労働をなんとか是正したいとのアメリカの労働者の大集会に端を発したと言われていています。まさに自分たちを守る、働く者を守るという連帯の思いがその始まりです。私たちは、今、足元の危機的事態において、連帯の輪で、連帯の力で、働く者を守っていかねばなりません。

連合本部、地方連合会、構成組織の労働相談には連日様々な問合せが殺到しています。とりわけ有期雇用、契約労働、派遣労働、あるいはフリーランス等あいまいな雇用といった、通常のセーフティーネットにカバーされない方々、不安定な働き方の人たちが多くの割合を占めています。連帯の力で守っていかねばなりません。政府・行政への要請をさらに重ねていかねばなりません。

一方では、見えない感染リスクと闘いながら奮闘されている、医療関係の方々をはじめ、インフラ・公益・物流・生活必需品の供給等、極めて繁忙感の高い方々がおられます。心からの敬意と感謝を申し上げるとともに、この方々を絶対に守っていかねばなりません。労使関係のなかで、職場のコミュニケーションのなかで、課題の解決を図っていかねばなりません。

#### ☆働く人ひとりひとりをつないでいく

ここで大きな問題をクリアーにしておきたいと思えます。労働組合という傘に守られていない方々、労使関係という機能に無縁な方々が、日本には8割以上もおられるのです。それが如何に働く者にとって不利なことなのか？今、この緊急事態においてそのことが露呈しているのでしょうか？

本来、日本の憲法では労働三権が保障されています。その第一が「団結権」です。私たちは誰でも労働組合をつくる権利が保障されているのです。そして使用者・経営者はそれを認め、話し合いをしていかなければいけないのです。

すべての働く者の権利です。一人だけで悩むのではなく、私たちはつながっていかねばなりません。その権利を保障されているのです。憲法で労働三権が保障されている国は世界を見渡しても見当たりません。宝の持ち腐れにははいけません。ともに立ち上がり、そしてつながっていきましょう。

#### ☆働く者・生活者本位の社会を実現する

そして皆さん、働く者一人ひとりの声を活かされ一人ひとりが大事にされる社会にこそ社会の進歩はあるのではないのでしょうか。

今この緊急事態の中であらわになっている社会の矛盾、私たち連合からすれば、かねてから主張し続けてきたセーフティーネット、雇用のセーフティーネット、生活保障のセーフティーネットの重要性を、あらためて痛感するところです。

この20年間、新自由主義的な政策や自己責任論が横行する中で、日本では、不安定かつ低処遇の働き方が大幅に増えてしまいました。その際、本来、政労使が力を合わせてセーフティーネットを構築しておくべきであったと言わざるを得ません。リーマンショックの時の反省も活かされないまま今日を迎えてしまったのです。私たちが先頭に立って、人間中心の政策をつくりだし、働く者・生活者本位の政策を実現していかねばなりません。

#### ☆デジタルもアナログも

そして、このような、「まもる・つなぐ・つくりだす」、私たちは、これらの営みをデジタルの世界で、このようなオンラインのツールを使って展開する力をもっと高めていかねばなりません。労働組合づくりもオンラインで可能な世界に踏み込んでいかねばなりません。

そして、一方では、オフラインの喜びもあらためて再確認していきましょう。いつか必ず、私たち一人ひとりの力で、新型コロナウイルスの脅威を克服し、文字通り、手に手を取り合うことのできる世界を取り戻していきましょう。そして弾圧と戦争から解放されてつながりを取り戻した先輩たちの、当時の喜びも想像しながら、アナログの良さをあらためて実感し、つながることのできる喜びを爆発させていこうではありませんか。ともにがんばりましょう！